

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」 分担研究報告書

北海道における肝炎医療コーディネーター養成の現状

研究分担者：大原正嗣
国立大学法人北海道大学 北海道大学病院 消化器内科 特任教授

研究要旨：北海道において2017年度より合計8回の肝炎医療コーディネーター（肝Co）養成研修会を開催し、計1,015名の肝Coを養成した。また、2024年度に改正された北海道肝炎対策実施要綱では肝Coの陽性者数の目標や、肝疾患専門医療機関や自治体への配置率向上が目標とされている。今後は養成者数の増加のみならず、均てん化させていくことも必要である。すなわち、既に一部の自治体や専門医療機関へ配置もされているが、まだ全道の中では、養成人数に差があり、引き続き、自治体、専門医療機関への配置を中心に進めていく必要がある。

A. 研究目的

肝炎から肝硬変、肝がんへの移行を減らすためには、肝炎ウイルスによる肝病態の進展抑制が必要である。そのためには肝炎ウイルス検査の受検、受診、受療の促進が必要である。肝炎医療コーディネーター（以下、肝Co）は肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行うこととされ、2017年4月に都道府県に養成するように通知されている。

北海道においては2017年度に初めて肝Co養成研修会を開催し、2024年度までに合計8回の肝Co養成研修会を開催した。COVID-19感染拡大のため、2020年度からはオンラインによる研修会も実施している。本報告では北海道における肝Co養成状況の経年変化や配置状況について報告する。

B. 研究方法

2017-2023年度の北海道における肝炎Coの養成状況から、講義内容や講義時間について検討した。

配置状況については、特に自治体、肝疾患専門医療機関において検討した。



図1：肝Co養成研修会チラシ

C. 研究結果

1. 肝Coの養成状況

北海道では2024年度までに合計1,015名の肝Coが養成された。職種別では看護師35%と最も多く、次いで、薬剤師15%、事務職10%、保健師9%、臨床検査技師8%、MSW8%、管理栄養士5%、医師3%であった（図2）。

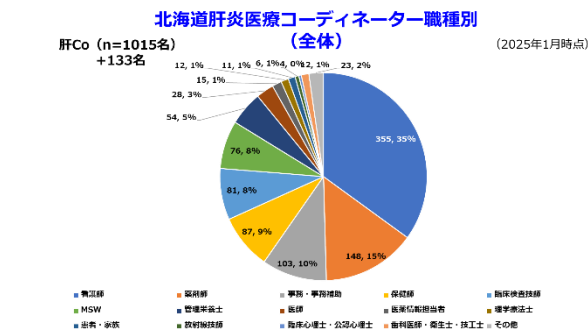


図 2：北海道肝 Co の職種

また、図 3 に開催年毎の養成肝 Co の職種割合、図 4 に職種別の養成人数の経年変化を示している。2023 年度までは看護師・薬剤師で受講者の約半数を占めていたが、2024 年度の受講者の職種割合は臨床検査技師が最多となり、次いで看護師、管理栄養士となった。

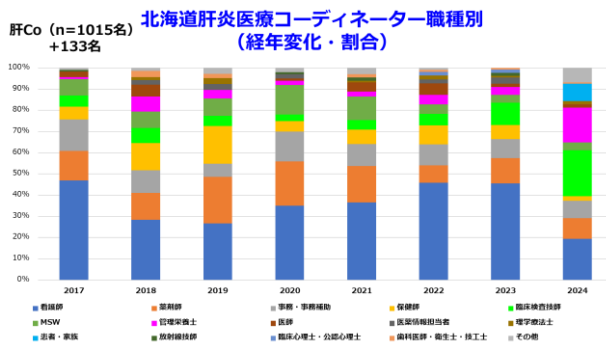


図 3：職種毎割合の経年変化

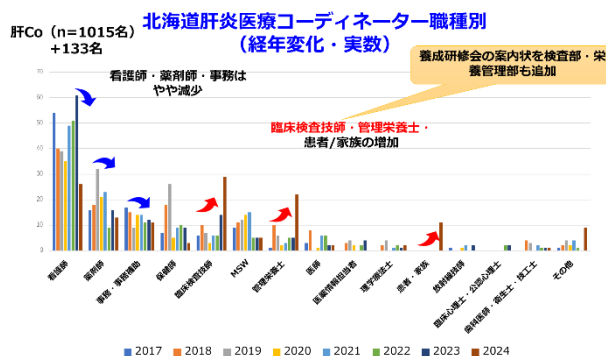


図 4：職種毎受講人数の経年変化

2. 二次医療圏別の養成状況

医療圏別では依然として札幌圏が 610 名と多かったが、21 ある二次医療圏への配置が維持されている (図 5)。札幌圏が 82 名増

加しており、現地開催での影響と考えられる。

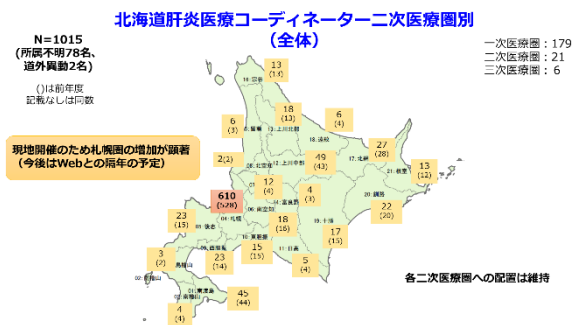


図 5：二次医療圏別の養成状況

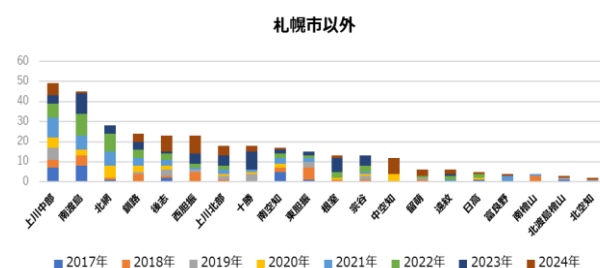


図 6：札幌以外の二次医療圏別肝 Co 養成数

二次医療圏別の肝 Co 養成総数から、地域によっては数年養成されていない、陽性数が十分とはいえない地域も依然としてある。

3. 自治体における肝 Co の配置

北海道の人口は 2024 年 1 月時点で約 509 万人であるが、35 市 129 町 15 村の合計 179 もの自治体が存在している。非常に多くの市町村が存在しているが、道庁所在地の札幌市が約 196 万人で北海道人口の 38%を占めている。その他の人口約 5 万人以上の地方中都市 15 市を加えると、北海道人口の約 4 分の 3 を占めている。

自治体の肝炎検査における肝炎対策を進めるためには、保健師や市町村肝炎ウイルス検査担当者への肝炎 Co 取得は非常に重要である。自治体における肝炎 Co は、経年的に増加しており、2024 年度では 70 名となった (図 7)。さらに、行政保健師で肝 Co 取得者は二次医療圏の 95%に配置されていた (図

8)。

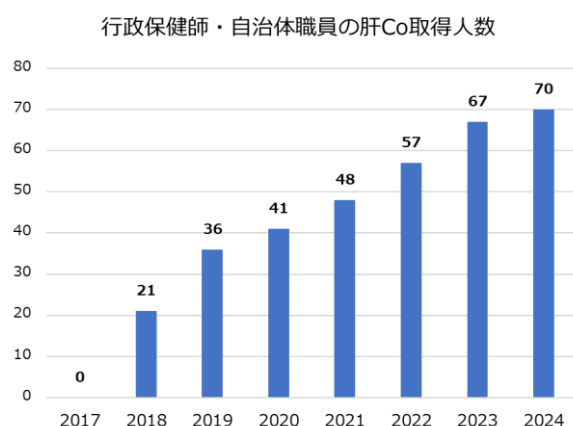


図 7：保健師・自治体職員の肝 Co 取得員数の経年推移

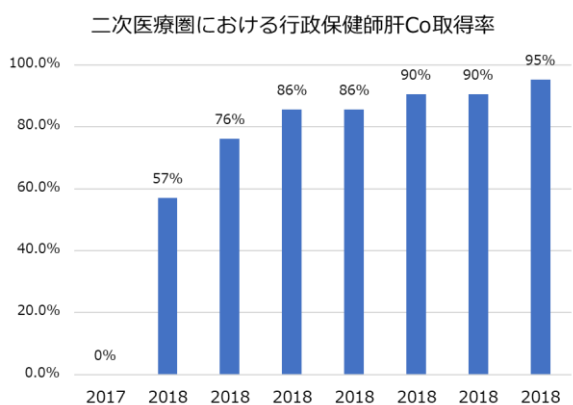
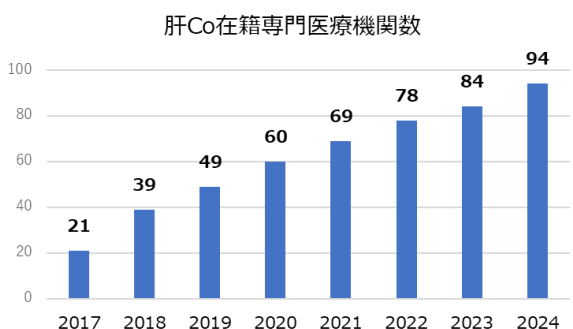


図 8：行政保健師の二次医療圏配置率

4. 専門医療機関への肝 Co の配置

さらに北海道は地理的条件から全道に 179 (令和 5 年 4 月 1 日) 施設ある肝疾患専門医療機関での肝 Co に期待される役割は大きい。専門医療機関における肝 Co 在籍率は年々増加しており、52.5%まで上昇し(図 9)、94 の肝疾患専門医療機関に配置されている。



D. 考察

北海道にて 2017 年より合計 8 回の養成研修会を開催し、合計 1,015 名の肝 Co を養成した。依然として札幌圏に集中しているが、21 ある二次医療圏全てへの肝 Co 配置が維持されている。北海道は広大ではあるが、その人口は札幌を中心とする道央地区に集中している。一方、地方は肝疾患専門医療機関、肝臓専門医ともに少ない。北海道における肝炎対策には、自治体や肝疾患専門医療機関における肝炎ウイルス陽性者を確実に受診、受療につなげることが重要である。2024 年度に改正された、北海道肝炎対策実施要綱では肝炎医療コーディネーターの認定者数の増加 (1000 人以上)、肝疾患に関する専門医療機関への配置率を向上させる、市町村への配置率の向上、道立保健所への配置率の向上が 6 年間の目標として設定された。

現在、北海道では 100 - 150 人/年程度で肝 Co を養成しているが、開催方法によって地域の参加状況に差が出てくるのが令和 5 年度研究で報告しており、今後は配置の均てん化を進めるためにも開催方法を工夫していく必要がある。

以上のように肝 Co の配置状況の均てん化を目指すべく引き続き啓発活動を勧めながら、二次医療圏、自治体、肝疾患専門医療機関への肝 Co 配置・養成を進める必要がある。

E. 結論

北海道においては合計 1,015 名の肝 Co を養成した。今後は自治体、肝疾患専門医療機関を中心に配置を進めていく。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

北海道大学病院肝疾患相談センター構成員として、厚労省肝炎対策推進室、肝疾患診療連携拠点病院と連携し、肝炎に関する総合的な施策の推進活動に携わっている。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし